

あなたと議会をむすぶ

議会広報  
令和3年5月27日発行  
第166号

# あじがさわ

発行…青森県鱒ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鱒ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321番地 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報紙は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



## ～ 町役場庁舎閉庁へ 長い間有難うございました ～

町役場庁舎(本町209番地の2)閉庁式が行われました。昭和48年に建設された庁舎も48年間の役目を終え、町役場の機能は舞戸町字鳴戸321番地の新庁舎へと移ります。 令和3年4月30日

3月  
定例会号

町役場の住所が変わりました	2～3
新年度の予算・主な取り組み	4～5
第1回定例会	6～7
一般質問(町民5人が傍聴)	8～11
各常任委員会・予算特別委員会 審議のようす	12
自治功労者表彰・議会活動	13
新庁舎議場について	14

鱒ヶ沢町議会ホームページへアクセス

鱒ヶ沢町議会 検索

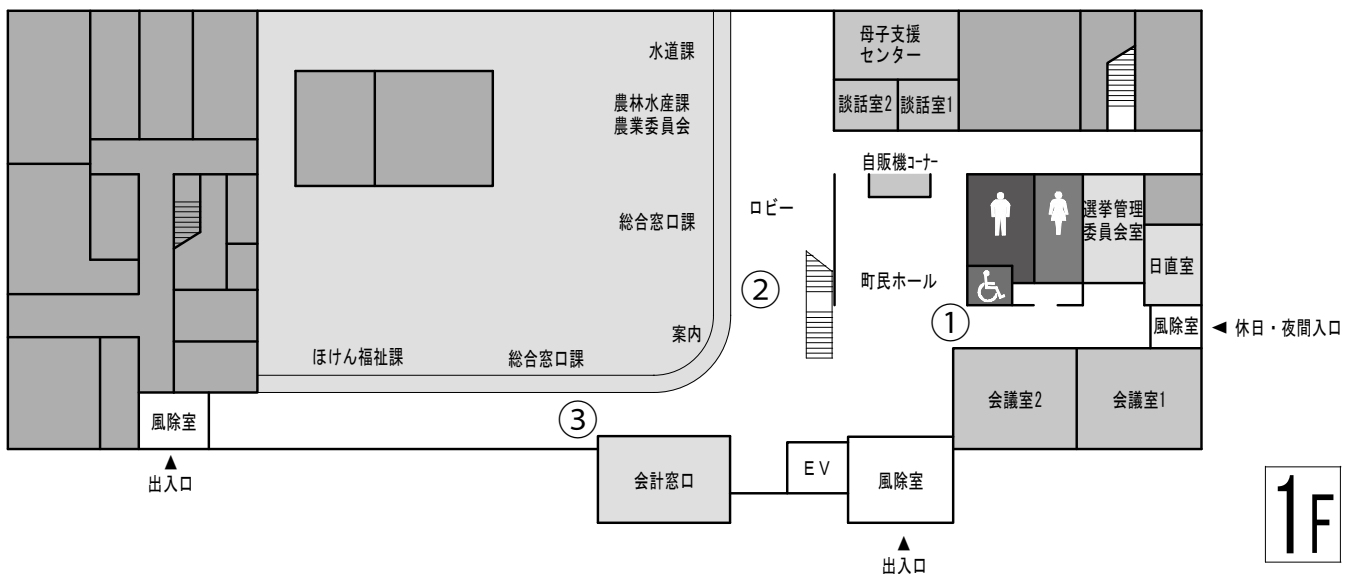


QRコードは  
こちらから

# 町役場の住所が 舞戸町字鳴戸321番地になりました



## 令和3年5月6日から 新庁舎で執務をしています



③ 総合窓口課前のようなす



② ロビーのようす



① 会議室付近のようす

5月6日  
新庁舎玄関前で行われた  
新庁舎開庁式



開庁式で式辞を述べる平田衛町長

4月17日  
ホテルグランメール山海荘で行われた  
新庁舎落成記念式典



式辞を述べる平田衛町長

3月27日  
新庁舎1階で行われた  
新庁舎建設工事竣工式



竣工式の様子



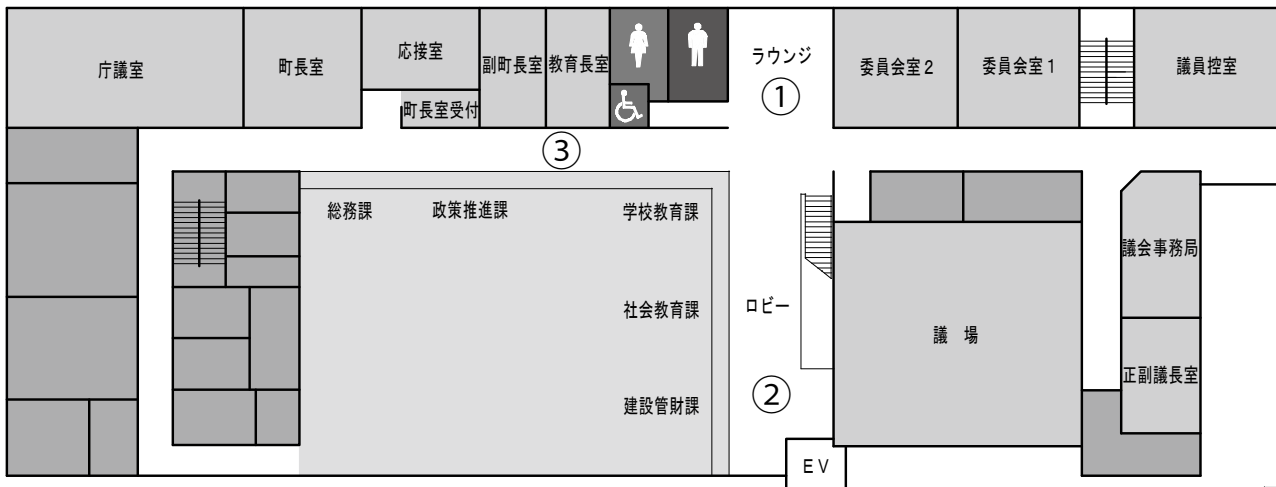
テープカットの様子



会場内の様子



あいさつを述べる平田衛町長



2F



③ 政策推進課、総務課前のようす



② 2階ロビーのようす



① ラウンジのようす

# 新型コロナウイルスワクチン接種事業等を実施 ～令和3年度の主な取り組み～

## ◇新型コロナウイルスワクチン接種事業 7455万円

5月10日から開始となった新型コロナウイルスワクチン接種に係る事業費



写真：鯉ヶ沢病院隣に設置されたワクチン接種受付会場

令和3年度の一般会計当初予算は、予算特別委員会の審議を経て、本会議において全会一致で可決されました。  
このページでは、新年度の主な取り組みについてお知らせします。  
(※表示金額は予算額のため、実際の事業額とは異なる場合があります)

## ◇橋梁補修事業 5520万円

鯉ヶ沢跨線橋、茂平橋（北浮田町）、神禮橋（湯舟町）など橋梁の耐震補強工事の設計、補修を行うための事業費



写真：耐震補強が必要な鯉ヶ沢跨線橋

## ◇新庁舎備品購入事業 1億2500万円

5月6日から執務開始となった新庁舎（舞戸町字鳴戸321番地）内の備品購入事業費



写真：新庁舎内のようす

## ◇第一中学校線舗装補修事業 2500万円

消防庁舎から国道101号バイパスへつながる道路の舗装補修にかかる事業費



写真：舗装補修される第一中学校線

## ◇森林経営管理事業 1172万円

森林所有者への森林経営管理意向調査準備のため基礎資料の作成、林地台帳の精緻化と意向調査実施にかかる事業費



写真：民有林の6割程を占める人工林

## そのほかの主な事業

- ◇町観光協会補助金 1600万円
- ◇多機関の協働による包括的支援体制構築事業委託料 1418万円
- ◇わさお記念碑制作負担金 300万円
- ◇白八幡宮大祭実行委員会助成金 300万円
- ◇空家等除却事業費助成金 150万円

## ◇老朽化施設（廃校等）解体事業 1901万円

旧深谷小学校の校舎と教員住宅、旧中村小学校の教員住宅、旧建石小学校の教員住宅の解体事業費



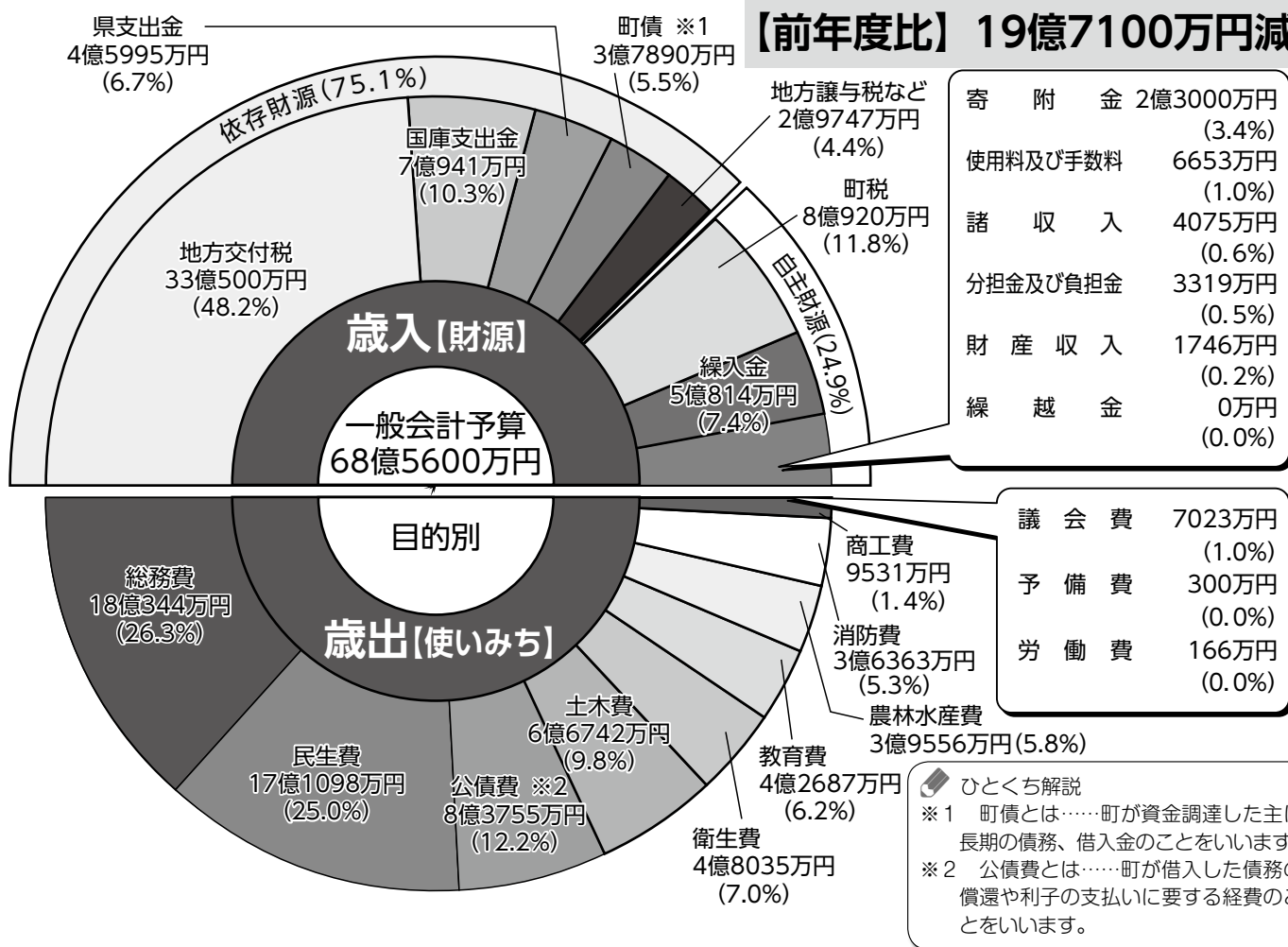
写真：解体予定の旧深谷小学校

令和3年度  
当初予算

# 新年度予算可決

## 一般会計 68億5600万円

**【前年度比】 19億7100万円減**



### 令和3年度一般・特別・企業会計当初予算

会計名	本年度予算額	前年度予算額	増減	対前年度伸率(%)		
一般会計	68億5600万円	88億2700万円	-19億7100万円	-22.3	↓	
特別会計	国民健康保険事業	15億4985万円	15億7000万円	-2015万円	-1.3	↓
	農業集落排水事業	1億5383万円	1億4338万円	1045万円	7.3	↑
	小規模水道事業	613万円	621万円	-8万円	-1.2	↓
	公共下水道事業	2億5440万円	4億319万円	-1億4879万円	-36.9	↓
	墓地公園事業	20万円	20万円	0	0.0	—
	介護保険事業	15億6547万円	15億7029万円	-482万円	-0.3	↓
	後期高齢者医療	1億4423万円	1億5420万円	-997万円	-6.5	↓
	水産業振興事業	3390万円	2967万円	423万円	14.3	↑
【企業会計】水道事業	5億3274万円	5億3278万円	-4万円	0.0	—	
全合計	110億9675万円	132億3692万円	-21億4017万円	-16.2	↓	

※予算額は、万円単位（四捨五入）で表示しています

令和3年  
第1回  
定例会

会期  
3月2日～12日

# 特別多数議決 町役場の住所は 舞戸町字鳴戸321番地 になります。

令和3年第1回定例会が3月2日から12日までの日程で開かれました。開会日の2日、条例改正案、令和3年度一般会計当初予算案等議案38件、報告3件が上程されました。

9日の一般質問では、議員4名が将来へ向けた農業振興対策について、漁業振興のための今後の支援策についてなどを町政へ問いました。(質問内容は8～11ページに掲載しています。)

最終日には、31日に任期満了を迎える教育委員会教育長の任命について同意を求める議案と議員発議として議会会議規則の一部改正について、議会傍聴規則の全部改正について3件が上程され、10日の各常任委員会、予算特別委員会で審議(内容は12ページに掲載しています。)された議案と併せて、議案42件は全て原案どおり議決されました。主な議案等は次のとおりとなっています。

## ▼条例の一部改正 **可決**

### 役場の位置を定める条例の改正

所) から舞戸町字鳴戸321番地(新町役場の住所)に改めるためのもの。令和3年5月6日施行



庁舎の移転に伴い、役場の位置を本町209番地の2(旧町役場の住

この議案は、地方自治法第4条第3項の規定により、出席議員の3分の2以上の同意を必要とする特別多数議決となり、出席議員11名による起立採決が行われ、全員が起立し賛成をしました。

この議案は、地方自治法第4条第3項の規定により、出席議員の3分の2以上の同意を必要とする特別多数議決となり、出席議員11名による起立採決が行われ、全員が起立し賛成をしました。

防炎行政無線通信施設の設置及び管理に関する条例の改正

## ひとくち解説

特別多数議決とは：住民への影響が特に大きい重要な案件の決定について、より慎重な判断が求められること

【改正内容】  
・中継局、再送信子局の設置場所の変更  
・無線施設装置の名称の一部変更 など  
令和3年4月1日施行

## ▼条例の廃止

幼保連携型認定こども園設置条例 **可決**

鯉ヶ沢こども園を、令和4年3月31日に閉園するためのもの。

## ▼条例の制定

町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例 **可決**

公職選挙法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、町議会議員及び町長選挙における選挙運動の公営に関し、必

必要な事項を定めるためのもの。



## ひとくち解説

選挙公営制度とは：候補者の個人的な財力により選挙に不公平が生じないようにという目的で考えられた制度で、国または地方公共団体等が個々の候補者の費用の全部または一部を負担するもの。

## 主な内容

- 選挙運動用自動車
    - 一般運送契約 64,500円×日数
    - 一般運送契約以外  
選挙運動用自動車借入契約 15,800円×日数
    - 燃料供給契約 7,560円×日数
    - 運転手雇用契約 12,500円×日数
  - 選挙運動用ビラ  
単価(7円51銭)×ビラ作成枚数  
(町長選5,000枚、議員1,600枚)
  - 選挙運動用ポスター  
単価限度額(525円6銭×掲示場の数+310,500円)÷掲示場の数
- ※ いずれも有償契約の締結が必要で、(1)の日数は、候補者の届出日から選挙期日の前日までの日数。



再任同意の後、議場であいさつをする阿彦教育長

3年  
令和3年4月1日から

【任期】

3月31日、任期満了となる教育委員会教育長に、現教育長の阿彦正弘氏（63歳）を引き続き任命するもの。



▼追加議案  
教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて  
同意

▼工事請負契約の締結についての議決の一部変更について  
可決

令和元年9月12日に議

決した、新庁舎建設工事に係る工事請負契約の締結についての一部を変更することについて、議会の議決を求めるもの。



新庁舎1階のようす

【変更事項】

契約金額18億2600万円を18億4580万円に改めるもの。

【変更理由】

- ・杉板貼り範囲の増
- ・屋外機械場の防雪対策
- ・動力電灯盤の位置変更などによる増額

【変更仮契約日】

令和3年2月19日

▼工事請負契約の締結についての議決の一部変更について  
可決



鳴戸ヶ丘線のようす

令和2年5月19日に議

決した、鳴戸ヶ丘線道路改良工事に係る工事請負契約の締結についての一部を変更することについて、議会の議決を求めるもの。

【変更事項】

契約金額5610万円を7204万100円に改めるもの。

【変更理由】

- ・施工延長をL1140.4m追加したことによる増額

【変更仮契約日】

令和3年2月16日

▼発議第1号  
議会議規則の一部改正  
可決

男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など議員として活動するに当たっての諸要因に配慮するため、育児、介護など議会への欠席事由を整備するとともに、出産については母子保護の観点から出産に係る産前・産後の欠席期間を規定するもの。

（主な改正内容）

- ・会議の欠席事由として、公務、傷病、出産、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他やむを得ない事由を認めるもの。
- ・出産のため会議に出席できない場合は、予定日の6週間前の日から出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、期間を明らかにし、欠席届を提出することができる。

▼発議第2号  
議会傍聴規則の全部改正  
可決

新庁舎議場における、より傍聴しやすい環境づくりのため、規則を改めるもの。

（主な改正内容）

- ・傍聴席のうち、一般席の定員を20人、車椅子席の定員を2人とする。



新庁舎議場内傍聴席のようす

- ・傍聴しようとする者は、傍聴証の交付を受けるものとする。

▼発議第3号  
議会議規則の一部改正  
可決

本会議一般質問における一問一答方式の運用及び、町長等答弁者に質問の趣旨を明確にするための反問権を付与することを追加するためのもの。

（主な改正内容）

- ・一般質問において、質問者の選択により、一括質問の方式又は一問一答方式のいずれかで行うことができる。
- ・質疑の趣旨を明確にするため、議会・委員会の審議において、質疑に答弁する者は、議長・委員長の許可を得て、質疑を行った議員に対して反問することができる。
- ・質問内容の趣旨を明確にするため、質問に対して答弁する者は、議長の許可を得て、質問を行った議員に対して反問することができる。



傍聴証を交付する新庁舎議場入口

# 一般質問



菊谷 忠光議員

## 町の将来へ向けた農業振興対策は

問・農業を取り巻く環境は、過疎化や従事者の高齢化により、後継者不足や遊休地の増加など厳しい状況にあると思うが、これらに対する町の事業や取り組みを伺います。

答弁・田村農林水産課長

過疎化や農業従事者の高齢化に起因した後継者不足、遊休農地の増加等、農業を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。

過疎化、高齢化が進むことによる課題・問題に対する具体の対策としましては、農地法を基本と

3月定例会では、4名の議員が質問しました。一般質問では町の行財政全般に関し、町長の考えや町の施政方針を問います。

## 将来へ向けた農業振興対策をどのように答へ各種支援制度を使いサポートしていく



開花の時期を迎えた町内りんご園のようす



南金沢地区での田植えのようす

した所有権移転を中心に進めています。

また、高齢等により規模縮小を余儀なくされた農家等を出し手と位置付け、意欲と能力のある認定農業者等を受け手とする農地移動適正化あつせん事業を積極的に進めています。

そのほか、耕作意欲のある農家の利用権設定（いわゆる貸し借り）をもつて、農地集積と経営規模拡大を進める取り組み

みに努めているところで

後継者不足の対策として、49歳以下の新規農業就農者に対する支援として、一定期間定額の青年就農給付金を交付し、就農時の収入面でのサポートを行っています。

問・農家の後継ぎである若手世代が、農業にやりがいを持てるようにするために、考えていることはありますか。

答弁・田村農林水産課長  
他の分野にも言えることですが、農業においても収益に結び付く、しっかりとした農業経営ビジョンを持たなければいけないと思います。

具体的には、どのような作物を作付けするのか、経営体・経営規模はどうするのか、農業機械を導入による農業近代化を図るのかなど、確かな経営戦略を持ち、これを達成するために努力されている農家に対しては、公的な支援（補助制度）、融資制度等をフルに活用、奨励するなど、全力でサポートしてまいりたいと考えています。

問・農作物のブランド商品化を目指したい、あるいは取り組みたい農家に対する補助制度はありますか。

答弁・田村農林水産課長  
ブランド化については、地域に根差しているものからでないといけないと思います。また、消費動向など、いかに現代にマッチできるかというようなことも含め、今あるものを磨き上げることが大切だと考えます。

県内他地域においても、いきなり白紙の状態ではなく、既にあるものを磨き上げてブランド化していますので、農業者の不断の努力を期待し、今後そういう可能性があれば、地域一丸となって支援してまいりたいと思っております。

意見・超高齢化社会を見据え、今から準備は必要だと思しますので、いい考え、いい知恵、いい事業で力になっていただきたいと思います。

※菊谷議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆新型コロナウイルス対策交付金の用途について  
團国や県からの新型コロナウイルス対策交付金は、どのように使われたのか。

答 主な用途は、町民1人あたり10万円を支給する特別定額給付金事業、令和2年度中に生まれる新生児に対する特別定額給付金事業、全町民向け1人50000円の商品券配布事業などの給付。プレミアム付き商品券の発行事業、飲食店や宿泊施設、漁業者など事業を継続的に行っていたため、小中学校児童生徒への事業としてタブレット端末を1人1台整備するIT教育環境整備事業、エアコン設置事業。避難所等の感染防止対策として、マスクや消毒液の備蓄及びテント、簡易トイレ、ワンタッチパーテーションなどの整備に使用しました。





佐藤 薫議員

## 町の基幹産業である漁業の今後の振興支援策は

問・昨年12月のハタハタ漁の低調、今年1月のヤリイカ漁の不振、更には新型コロナウイルス感染症の影響により、漁業を取り巻く状況は極めて厳しいが、町の基幹産業である漁業振興のための支援策について回答をお願いします。

答弁・田村農林水産課長  
ハタハタは、西海岸の漁獲量が13年ぶりに200トン割れの164トンで、特に当町は51トンにとどまり、18年ぶりに60トンを下回る事態となりました。  
ヤリイカについても、今期は振るわない状況が

## 漁業振興のための今後の支援策は 答へ漁業全般が抱える課題を踏まえ検討する

続き、1月の漁獲量は、前年同月の半分以下とも言われており、3月末まで続くヤリイカ漁の今後の水揚げに期待するものです。

漁業への支援策、振興策につきましても、漁業全般が抱える課題、問題を踏まえ、その影響を緩和し、漁業、水産業が衰退することなく、振興を図るために何ができるのかを見極めながら、鋭意検討してまいります。

問・漁業の不振や不漁は、海水温度の上昇など様々な要因があり、難しい問題だと認識しています。町が支援している元気が浜づくり推進事業の内容と効果をお知らせください。

答弁・田村農林水産課長  
この事業は、様々な魚種の資源確保対策として行われ、漁業協同組合が中心に行う種苗の放流事業に対して町が助成しているものです。かつては、エビ、イワガキ、ナマコ、近年ではアワビの放流に対する助成を行っておりです。  
令和3年度は、キツネメバル、アイナメなど海を回遊しない魚の放流事業に助成することとしております。

また、昨年不漁でありましたハタハタについては、卵の人工ふ化放流事業などへの助成も計画しております。  
さらに、サケの親魚を購入して産卵させ、放流するといったサケの回帰率向上事業を行っており、昨年は前年に比べ、



サケの回帰率向上事業 作業の様子

上で、漁業振興に対する町長の考えや思いをお聞かせ願いたい。  
答弁・平田町長  
このたびのハタハタ、ヤリイカの不振を含め、水産を取り巻く情勢は非常に厳しく、漁業者や漁業協同組合など大変ご尽力されていることは承知しているところです。  
町では、様々な支援を実施してまいりましたが、中でもヒラメの漬け井は、内外から非常に高い評価をいただいております。ヒラメの消費拡大につながっているものと思っております。  
また、鱈ヶ沢では、様々な種類の魚が季節ごとに捕れますので、いかにしてこうした情報を発信し、高く売っていくかという点も含め、引き続き検討してまいります。  
意見・財政の問題等ありますが漁業振興のための更なる支援策を要望いたします。

※佐藤議員は、このほかにも次のような質問をしています。

### ◆市街地巡回バスのルート延長について

市街地巡回バスは、釣町から小夜、七ツ石、田中町方面から駅を経由して循環するルートとなっておりますが、それ以外の漁師町、富根町、淀町、大和田を通って中学校で迂回するといった運行パターンについても検討はできないか。

市街地巡回バスは、鱈ヶ沢駅を中心に運行し、30分程度の所要時間でできるだけ多くの便を走らせることで、利用者の利便性がより高まるものと考えています。  
多くの方に利用していただくためには、ルートを伸ばしたいところではありますが、所要時間や利便性がどうなるかなど、住民の声をしっかりと聞いた上で考えてまいります。



佐藤 昭司議員

## 新型コロナウイルス ワクチン接種について

問・町では、3月1日より新型コロナウイルスワクチン接種対策室を設置し、万全の体制を取っていますが、ワクチン接種までの今後の流れと接種会場等について、お聞かせください。

答弁・神ほけん福祉課長  
新型コロナウイルスワクチン接種対策室は、保健師等十数名の体制となっておりませんが、業務内容が多岐にわたることから、全庁的な協力体制を取りながらワクチン接種事業を確実に遂行してまいります。

当町のワクチン接種体制については、つがる西北五広域連合鱈ヶ沢病院での集団接種を中心に、町内3診療所等による個別接種での協力体制を整備しているところであります。

また、診療所等に協力をいただいで実施する個別接種は、集団接種会場に來場できない高齢者施設等に入所している方や、高齢者施設従業者を対象に、施設へ出向いての個別接種も実施する方

向で調整しております。町では、ワクチンが確保でき次第、迅速かつ、きめ細やかな接種体制でワクチン接種を開始できるように、準備を進めていくところです。

次に、ワクチン接種の今後の流れについてですが、国が接種順位を示しており、最初に高齢者の方、次に基礎疾患を有する方、高齢者施設等の従事者、60歳から64歳の方、最後にこれら以外の方の順で行われますので、ワクチン接種に必要な接種券を4月上旬頃から、接種順位ごとに順次発送してまいります。

ワクチン接種につきましては、現段階では接種開始時期が5月上旬と推測されますので、予約の受付開始時期は、4月上旬を見込んでいます。

## ワクチン接種までの流れと接種会場は 答へ鱈ヶ沢病院での集団接種を中心に



毎戸配布されたチラシ



鱈ヶ沢病院隣に設けられたワクチン接種の受付会場



ワクチン接種受付会場内のようす

ただし、ワクチンの分配状況によっては、接種時期、接種券の配布等の日程がずれ込む可能性がありますので、ご理解いただければと思います。

問・ワクチン接種の流れ等について広報あじがさわやチラシ等で周知されましたが、高齢者の方は、チラシを見るのが難しい方もいると思います。例えば防災行政無線や各町内の保健推進員の方々に戸別訪問などの協力をお願いしながら、ワクチン接種に関する様々な情報の周知を図っていただきたいと思います。どのよう

答弁・神ほけん福祉課長  
交通手段のない65歳以上の方を対象に、各方面から鱈ヶ沢病院まで、専用バスの運行を検討しています。

意見・バスについては、ぜひ進めていただき、一人でも多くの対象者が接種できるような環境をつくっていただきたいと思います。



東條 一彦議員

## 小中学校給食費の完全無償化への取り組みは

問・これまで、小中学校給食費の完全無償化を検討したことがあるのか、あればその結果を、していないのであればなぜしないのかお答え願います。

答弁・阿彦教育長

町の給食費用の状況からご説明いたします。児童生徒の給食費の材料費ですが、小学生が1食275円、中学生が300円で、これは県内の平均値とほぼ同じ状況です。

給食の回数は、年間約200食ですので、1人当たり年間5万5000円から6万円負担いただいております。

## 給食費完全無償化への取り組みは 答へ他の制度を活用し対応している

給食に係る町の経費ですが、令和元年度の決算ベースで、児童生徒の給食材料費は2400万円程が支出されました。

一方、経済的に困窮している家庭を支援するため、該当する準要保護世帯に対して、給食費の全額を町が補助しています。その総額は、給食材料費のうち約30%、730万円程となっております。児童生徒の3分の1は給食費が無償という現状となっております。学校給食費完全無償化の検討についてですが、これまで教育委員会として正式に検討したことはございません。

理由としましては、経済的に困窮している準要保護世帯に対し、町が学校給食費の全額補助を行っていることが一つ、



給食センターでの学校給食調理の様子

もう一つは、給食費の完全無償化を実施する場合、毎年2000万円以上の予算確保が必要になるからです。

問・小中学校は義務教育のため、授業料、教科書が無償となっており、給食も食育という授業の環境として、無償としてもいいのではないかと考えますが、いかがですか。

答弁・阿彦教育長

予算の問題がありますし、また経済的に困窮する準要保護世帯につきましては、補助制度を活用して対応しておりますので、このままの形で対応できるものと認識しております。

問・町も少子化や過疎化の問題があり、手厚い支援で子育て世代の流出を食い止め、新たに住んでみたいと思う人達を呼び込む施策として、給食費の無償化は、実効性のある子育て支援の一つだと思えますが、町長はどのように考えていますか。

答弁・平田町長  
当町の子育て支援は、非常に先進的な取り組みをしていると考えています。

給食費ではありませんが、4月から紙おむつを1年間使う分について、全額紙おむつ支給という取り組みを始めます。

給食費無償化については、県内で実際に実施している自治体もありますし、一部の自治体では、様々な議論している状況にあります。当町でも課題の一つであると認識しておりますが、全て財政のせいにはしたくありませんが、財源の捻出ということを含め、現段階では難しいということであり

意見・財政の問題が大きいと思えますが、まだ無駄な予算組みもあるかもしれないので、これを踏まえながら予算を組んでいただきたいと思います。

※東條議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆鱈ヶ沢高校の支援について  
今今まで支援してきた内容と、今後の支援策を分かりやすく説明願いたい。

鱈ヶ沢観光協会が活動支援していた鱈ヶ沢高校SBP（ビジネスを活用して地域課題を解決する）研究会の活動費支援等を平成30年度から町が行っています。令和元年度からはEC未来塾という事業を行い、IT講習会を実施しています。令和元年度にはこれらの活動支援を含め、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に高校と町が連携協定を締結しています。

今後もSBP活動費の支援とIT講習の授業への講師派遣、鱈ヶ沢中学校と高校との教職員相互交流による授業の取り組み等を実施してまいります。

# 各常任委員会の審議

3月10日

第1回定例会では各常任委員会（総務文教常任委員会、産業建設常任委員会）に議案（条例案、補正予算案等）が付託され、詳しい審議を経て本会議で決定されました。ここでは同委員会で審議された内容を一部抜粋してお知らせします。

## 総務文教常任委員会



総務文教常任委員会 審議のようす

**問【介護保険料の額改定について】**（田中委員）  
被保険者の負担になると  
思うが、これは国の制度  
上のものなのか内容を教  
えてください。

**答**（神ほけん福祉課長）

3年に1回介護保険事業  
計画を見直し、保険料に  
ついては保険事業の策定  
委員会を設けて試算し、  
高齢者も増えていくので、  
負担にならない程の改定  
を決めました。

**意見**（田中委員） 据え  
置いている他市町村もあ  
る、と思う町民もいま  
すので、改定の原因等周知  
徹底してほしいと思いま  
す。

## 産業建設常任委員会

**問【下水道事業について】**  
（世永委員） 浜町と新町  
の工事を行っていますた  
が、富根町まで工事が進



産業建設常任委員会 審議のようす

むにはどのくらいの期間  
を要し、工事費の見通し  
はついていますか。

**答**（工藤幸仁水道課長）  
浜町と新町は令和3年度、  
新地町は令和4年度の着  
工となり、富根町までは  
令和5年度までの予定で  
あり、工事費は5カ年計  
画で2億円程の予定と  
なっています。

**問【墓地公園の区画につ  
いて】**（世永委員） 何区  
画売れて、何区画残って  
いますか。

**答**（長谷川総合窓口課生  
活衛生班長） 4区画売れ  
て、残りは114区画と  
なっています。

# 予算特別委員会の審議

3月10日

令和3年度一般会計当初予算案は、議員全員によ  
る予算特別委員会（菊谷忠光委員長）を設置し、詳  
しい審議を経て本会議で決定されました。ここでは  
同委員会で審議された内容を一部抜粋してお知らせ  
します。



予算特別委員会 審議のようす

**問【福祉バス運行委託料  
について】**（東條委員）  
昨年より増えた理由をお  
聞かせください。

**答**（神ほけん福祉課長） 委  
託料に車検料等諸経費も含  
めたため増えたものです。

**問【鯉ヶ沢こども園閉園  
について】**（佐藤薫委員）  
来年3月閉園ということ  
で、記念事業等の内容を  
お知らせください。

**答**（神ほけん福祉課長） 閉  
園式記念アルバム、記念誌  
等を考えており、保護者と  
相談しながら対応してい  
きたいと考えています。

**問【水産業振興について】**  
（齋藤委員） 稚魚放流事  
業など、もう少し本気で

漁師のために事業をする  
考えを持つべきと思いま  
すが、これからの考えを  
お聞かせください。

**答**（平田町長） つくり育  
てる漁業ということで国  
県、町も取り組んでま  
いました。まだまだ不足  
な部分がありますので、  
漁業協同組合側とも話し  
合いながら進めていきたい

**問【中学校避難道の管理  
について】**（神委員） 管  
理は徹底されているのか  
**答**（櫻井学校教育課長）  
用務員が定期的な点検を  
行い、必要な場合草刈等  
をして整備しています。

**問【教育支援センターに  
ついて】**（佐藤薫委員）  
概要についてお聞かせく  
ださい。

**答**（櫻井学校教育課長）  
これは不登校の子供達の  
学習援助を行い、本籍校  
への復帰を目的とし開設  
するもので、西北五2市  
5町が連携して令和3年  
度から本格的に運用して  
いくことになっています。

## 自治功労者 表彰を受賞

2月26日、ホテル青森（青森市）において行われた、青森県町村議会議会議長会第71回定期総会で、長年の議員活動を通じて、地方自治の振興発展に貢献された議員に贈られる青森県町村議会議長会表彰を田中亨副議長が受けました。

3月2日、令和3年第1回定例会の開会に先立ち、議場において神孝議長から表彰状の伝達が行われました。今回の受賞は、11年以上町議会議員として在職され、地方自治に特に功労があったとして表彰されたものです。



表彰された田中副議長（右）と表彰状伝達をした神議長（左）

## ICTを活用した 議会運営へ向け 町に協力依頼



平田衛町長（中央）に協力依頼をした（左から）田中副議長、神議長、菊谷議員、東條議員

3月12日、町長室において、神孝議長、田中亨副議長、菊谷忠光議員（議会改革特別委員長）、東條一彦議員（議会改革特別副委員長）が、ICTを活用した議会運営へ向け、平田衛町長に協力依頼をしました。

昨年6月に設置された議会改革特別委員会や全員協議会で、議員間の協議を重ね、これからペーパーレス化に向けて、タブレット端末の導入を目指すことを確認したことから、行政も一体となった取り組みを、検討してもらうよう依頼したものです。

## 新庁舎落成記念式典

4月17日、ホテルグランメール山海荘において新庁舎落成記念式典が行われ、町議会を代表し、神孝議長が「防災の観点



あいさつをする神議長

見渡せるようにした対話型の議席配置としています。新庁舎の落成を機に、我々町議会議員も町民のため、町のため、これまでに以上に努力をしてまいりますので、皆様のご協力をお願いします。新庁舎が町民にとって親しみのある役に立つ場となり、なお一層町が発展することを期待します。」とあいさつをしました。

この後、新庁舎において内覧会が行われました。



議場内の内覧のようす

## 旧庁舎に 別れ 庁舎閉庁式



閉庁式であいさつをする神議長

4月30日、旧庁舎（本町）前において、庁舎閉庁式が行われ、町議会議長が代表して、神孝議長が「この庁舎は町政の中心的建物として町民が親しんできた場所です。閉庁となるこの庁舎に心から感謝の意を表し、町役場の役目が滞りなく新庁舎に引き継がれることを願います。」とあいさつをしました。

旧庁舎は昭和48年に建設され、以来48年余りの役目を終えます。

# 新庁舎議場について

新庁舎議場は、議長席、傍聴席、議員席、理事者席の各4方向から見渡せる、対話型の議席配置となっています。

段差のない構造となっており、傍聴席は一般席20席と車椅子席2席を設けています。新議場での会議は、令和3年第2回定例会からを予定しています。



議長席から見た議場内



傍聴席から見た議場内



議員席から見た議場内



理事者席から見た議場内

## 第2回定例会の予定

傍聴を希望される方は、マスクの着用をお願いします。

議会日程は、議会運営委員会において正式に決定されます。

議会傍聴は今までどおり行う予定としています。今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じては、変更する場合があります。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

開催日程、一般質問の議員氏名、質問事項については町防災無線、町ホームページでお知らせします。

- ▼6月4日(金)  
開会予定です
- 《開会後の日程は  
次のとおりです》
- ▼6月8日(火)  
一般質問
- ▼6月9日(水)  
総括質疑  
討論、採決  
閉会

特集 はつらつチャレンジャーは休載します。